

P03 特集

「主張する鼻」

P10 Field Review

- パシフィコ横浜
- 東海ガス株式会社

P14 azbil mind

- 着々と実り始めた
山武と金門製作所の協働シナジー

P16 azbil のある街

- 開放的でハイセンスな港町【神戸】



犬の嗅覚は、人間の100万～1億倍。
盲導犬や災害救助犬など、私たちの暮らしは犬の嗅覚にとっても助けられている。



特集

鼻
主張する

「クレオパトラの鼻がもう少し低かったら、歴史は変わっていた」。フランスの哲学者ブレイズ・パスカルの言葉だ。顔の中心にありながらも、目や口ほどの存在感はない「鼻」。しかしパスカルが着目したように、「鼻」はどことなく個性的で、ユーモラスでもある。目や口からの情報ばかりが目立つ社会の中で、それでも「鼻」は静かに主張している。

News Head Line

もっと詳しく! → <http://jp.yamatake.com/news/index.html>

グループの金門製作所 京都工場で電磁流量計を生産

電磁流量計の販売が国内および海外において好調です。これまで湘南工場でフル操業にて対応してきましたが、今後の販売計画に応じた生産設備の投資を検討した結果、当社のグループ会社である株式会社 金門製作所 京都工場内に電磁流量計の生産を移転し、設備を新設することを決定しました。 → A

ワイヤレス・ネットワークシステム「WiSensor」を販売開始

6月18日より、センサが計測したデータを無線で通信することができるシステム「WiSensor™ (ワイセンサ)」を販売開始しました。本製品は、温度センサや圧力センサ、流量計などの計測器に取り付け、その計測器からの信号を、無線を利用して通信・収集することが可能となるシステムです。無線を利用するので移設に容易に対応でき、現場の配線コストの大幅削減が可能となります。 → B

株式会社 イー・エス・ディを100%子会社化し、吸収合併

環境制御事業強化の一環として農業試験場を中心とした農業関連市場に参入することとし、この市場のリーダーで当社のグループ会社である株式会社 イー・エス・ディを8月1日付で吸収合併、ビルディングオートメーション (BA) 事業へ統合することを決定しました。 → A

藤沢テクノセンターに新実験棟を建設

将来の事業拡大に繋がる先端技術研究を加速するため、藤沢テクノセンターに6階建て6,050㎡の先端技術実験棟を建設します。2007年12月に着工し、2008年12月の竣工を予定しています。各工場に散在する実験設備費を集約するほか、大田区西六郷にある環境技術センターも移転・統合させて環境制御技術の研究効率を上げていきます。 → A

養護学校生徒に就労体験の場を提供、企業実習を実施

株式会社 山武の特例子会社である山武フレンドリー株式会社は、6月25日～27日に、藤沢市の自社内において県内養護学校生徒を対象とした「就労前企業体験実習」を実施しました。この実習は、障害者就労促進に貢献するために1998年から継続実施しているもので、本年度は既に8名(実施日数延べ31日間)。昨年度は33名、192日間)を受け入れています。 → A

ベトナム ハノイに出張所を開設

ベトナム北部におけるビルディングオートメーション (BA) 事業、アドバンスオートメーション (AA) 事業の展開・拡大を図るため、7月1日、ハノイ市に「ベトナム駐在員事務所ハノイ出張所」を開設しました。 → A

2007年度安全大会を開催

株式会社 山武のビルシステムカンパニーは、7月5日に東京都内(品川区総合区民会館きゅりあん)で、2007年度東京本店安全大会を開催し、参加者約650名が労働災害ゼロの達成、交通事故災害の撲滅を誓い合いました。当社は、「労働災害ゼロ達成」取組みの一つとして、毎年全国各地で安全大会を開催し、社員、協力会社への安全意識の啓蒙を図っています。本年度は全国13ヶ所で開催し、参加者数は述べ2,000名を超える予定です。 → C

azbil

山武グループPR誌 azbil(アズビル)

2007 August 8

azbilは、グループの気持ちをひとつにするための、シンボルマークです。グループ理念である「人を中心としたオートメーション」で、人々の“安心、快適、達成感”を実現するとともに、地球環境に貢献します」という思いを込めました。

問い合わせ先		
A 株式会社 山武 広報グループ	B 株式会社 山武 アドバンスオートメーションカンパニー IPマーケティング部	C 株式会社 山武 ビルシステムカンパニー コミュニケーションマーケティング部
TEL 03-6810-1006 FAX 03-5220-7274	TEL 0466-52-7027 FAX 0466-20-2365	TEL 03-6810-1112 FAX 03-5796-0795

いろいろな鼻をみてみよう



ヤマアラシ
【哺乳綱 齧歯目 ヤマアラシ科】
顔が細く、鼻づらが尖っている。嗅覚は発達し、においを頼りに自分で穴を掘って、木の根や球根を食べる。



オランウータン
【哺乳綱 霊長目 オランウータン科】
マレー語で「森の人」と呼ばれているように、人の鼻に近いかたち。嗅覚が退化したことで視覚が発達し、脳が大きくなった。



ユキヒョウ
【哺乳綱 食肉目 ネコ科】
「ネコ科の女王」と例えられるユキヒョウ。中央アジアの高原や高山地帯に生息し、高原の薄い空気をしっかりと吸い、冷たい空気を暖めるため鼻が太い。



キリン
【哺乳綱 偶蹄目 キリン科】
首の長さに気を取られて、普段はあまり気にかけないキリンの鼻。鼻の穴が大きく、嗅覚も優れている。



コアラ
【哺乳綱 有袋目 コアラ科】
長く黒ずみ、皮革のような鼻。とても発達した嗅覚を持ち、餌となるユーカリの葉が毒性かどうかを嗅ぎわけている。



マレーバク
【哺乳綱 奇蹄目 バク科】
伸び縮みが自由自在でよく動く長い鼻。物を触って確かめたり、水にもぐった時にシュノーケルのように鼻の先だけ出して息をしたりと、さまざまな使い方があり。



ホッキョクグマ
【哺乳綱 食肉目 クマ科】
体温が奪われるのを防ぐため耳は小さいが、嗅覚は鋭い。氷の下を泳いでいるアザラシのにおいを判別して狩りをする。



サイ
【哺乳綱 奇蹄目 サイ科】
ゾウに次ぐ巨体の持ち主。大きな角が特徴。視力は弱い嗅覚は鋭く、たくわえる空気の体積は脳の体積よりも大きい。



タヌキ
【哺乳綱 食肉目 イヌ科】
タヌキはイヌ科に属するが、嗅覚は犬ほどに発達していない。鼻を道路につけ、餌を探しながら歩くタヌキが各地で目撃されている。



コビトカバ
【哺乳綱 偶蹄目 カバ科】
オカビ、ジャイアントパンダとともに世界三大珍獣のひとつ。カバより水に入る時間は短く、目や鼻を水面から出すことはできない。

見れば見るほど不思議なゾウの鼻。この長く自在な鼻を見ると、人間の鼻にもまだまだ未知なる可能性が秘められているかもしれないと思えてくる。

しかし、便利なことばかりではない。ゾウの鼻はとても重く、ゾウ自身も疲れるらしい。よく木の枝や柵に鼻だけ乗せて休んでいる光景を見かける。また、子どものゾウは、自分の鼻の大きさがよく分からず、自分の鼻を踏んづけては転んでいるとか。そんなことを繰り返しながら、自分が特別に鼻の大きい動物であることを、学んでいくのだろう。

ゾウの鼻は、力強さと繊細さを兼ね備えているのだ。また記憶力が良く、においと記憶が結びついているため、その物が何であるかを過去の記憶から判断している。だから、間違っただけで口に入れることがない。鼻で掴んだ時に、異物を吐き出すからだ。逆に病気の時には、葉を飲ませるのが大変だとか。ゾウの鼻は、力強さと繊細さを兼ね備えているのだ。

ゾウの鼻は、人間にとって手のようなもの。鼻を使ってなんでもできる。鼻を絡めてあいさつをし、目をこすったり、気になる場所を触ったりもする。また、物を掴んで口に入れるのも鼻。水浴びをする時は、20〜30ℓの水を鼻の中に吸い込み、シャワーのように上からかける。力も強く、300〜400kgもある丸太を持ち上げることもできる。ぶつかれば、人も簡単にたたき飛ばされてしまう。

動物のからだを見ると、生息環境に応じた進化の跡がうかがえて面白い。首の長いキリン、角が突き出たサイ、たてがみを生やしたライオン。中でも、大きなからだの真ん中でぶらぶらさせているゾウの鼻は、圧倒的な存在感がある。



お話を伺った多摩動物公園のアフリカゾウ飼育担当・片柳雅之さん。「ゾウはとても大きなからだを持っていないが、心はとても繊細。ネズミが足下を走り回ると怯えてしまうほどです」

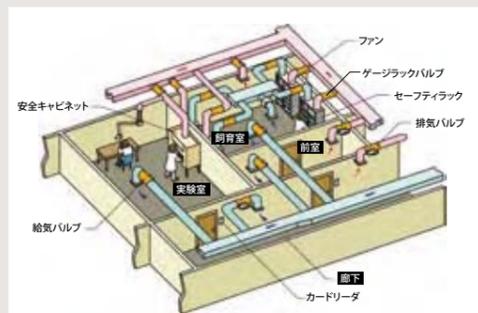


ゾウの鼻の先端は、こんなかたち。よく見ると毛がびっしり生えている。

azbil Topics

動物飼育環境の清浄と安全を維持する クリティカル環境システム

動物飼育施設において大切なのは、衛生環境の維持と向上。そこで注目を集めているのが、山武がビルディングオートメーションで培った技術を注ぎ込んだ、クリティカル環境™システムです。このシステムは、室内空気の温度・湿度・圧力・気流・清浄度などを厳密に制御するもの。安全・快適・省エネルギーをコンセプトに、高い清浄度を維持します。また、良好な室内環境を保ったまま換気回数の低減が可能。そのため、高い省エネルギー効果を発揮。システムが蓄積する計測データを解析することで、さらなる環境改善も可能となります。人に限らず動物にも、安心と快適を提供している山武です。



動物施設向けクリティカル環境システム

鼻のかたち

主張する
特集

動物の鼻は実にユニーク。どの動物も、独自のかたちや機能の鼻を持っている。しかし、鼻だけに注目して見たことは、あまりないのでは？ いろいろな動物の鼻を、じっくり観察してみよう。

香十徳
香道は、聞香に関する効用を「香十徳」として表現している。

感格鬼神
清淨心身
能除汚穢
能覺睡眠
静中成友
塵裏偷閑
多而不厭

感覺を研ぎ澄ませます

心身を清淨にする

穢れを取り除く

眠気を覚ます

孤独感を癒す

多忙時でも心を和ませます

沢山あっても邪魔にならない

寡而為足
久蔵不朽
常用無障

少量でも芳香を放つ

何百年を経ても朽ちほげない

常用しても害がない

香道が確立したのは、足利の8代将軍義政の時代。15世紀後半の慈照寺銀閣を中心に発展した東山文化の中で、茶の湯や生け花、能などとともに体系化された。茶道や華道に比べてなじみが薄いのは、香道で使われる香木がとても高価で手に入りやすく、市民生活に密着しなかったからだろう。しかし、当時は上流階級の雅やかな楽しみとして、香道は定着した文化のひとつだった。豊臣秀吉も徳川家康も熱心な香木のコレクターであり、戦場に出かける前には自分の鎧甲に香りを炷ぎしめ、存在感を示したという。

香木とは、東南アジアの島々で採取される沈丁花の木で、長い年月をかけて木の内側に樹脂が溜まり、香りを放つようになったもの。香りの違いは、採れる場所や熟成の年数による。繊細で味わい深く、心を落ち着かせる香りは、何百年という時を経た自然の力が生み出すものなのだ。

香道の世界では、「香りがかぐことを「聞く」と表現する。そしてなぜ「聞く」と表現するのか、そのことを考えることも含め、一生が修行の場となるのが香道である。530年続く志野流香道の21世家元に将来なる蜂谷宗苾若宗匠は、「分かりやすく表現するとすれば」と前置きをした上で、こう語った。

「香りを聞くとはすなわち、鼻から取り入れた香りを心の耳で聞くということ。香木が語りかけてくることを心で聞

香道は、香元がお手前をし、それを皆で楽しむもの。そして香道には、香りを当てるという遊戯性がある。香道では、組香と呼ばれるお香の組み合わせがあり、季節に合わせた「葛蒲香（あやめこう）」や「菊合香（きくあわせこう）」、「源氏物語を題材にした「源氏香（げんじこう）」など、数百種類ある。

「杜若香（かきつばたこう）」の遊び方

「杜若香」は、「伊勢物語」の在原業平（ありわらのなりひら）の歌

「からころも 着つつなれにし つましあれば
はるばる来ぬる 旅をしぞ思ふ」

を題材にした組香。初め一、二と名付けた香りを聞き、よく覚える。その後、一を二包、二を二包、初めて聞く香り三を二包用意し、順不同に炷き出す。この計六包の順番を当てる。写真①から⑧までが一連の流れとなる。



香元がお手前をし、香席が始まる



香炉は左手の上で水平に支え、右手で香りを逃さないように覆って聞く



「杜若香」の場合、合計8回香炉が回ってくることになる。高い集中力が必要



「三」の横にだけ、歌にならい「妻しあれば」と書く



答えを書いた「記紙」を、各々が「記紙台」に置いて集めていく



全員分が揃い、香元へ



参加者の解答は、「執筆」により記録される



答え合わせが終わると、一人ずつ拝見。あくまでおごそかに

六国五味（りっこくごみ）		
種類	地域	味
伽羅	ベトナム	苦
羅国	タイ	甘
真那伽	マラッカ	鹹（しおからい）
真南蛮	マナンパール（インド近辺）	辛
佐曾羅	サツソール（インド近辺）	酸
寸間多羅	スマトラ	

香木の種類は、原産地により六つに分類される。また、香りを味に見立てて、五味と表現する。

「香りを聞くためには深い精神統一が必要です。集中力を欠いていたり、当てようという邪念があると、私でも外してしまうほどです。忙しい現代を生きる人たちにこそ、ただ無心に香りを楽しむ時間が必要なのではないのでしょうか」

「長い年月をかけて蓄えられ、はるばる海を越え、いま手のひらにある香り。それは炷いた瞬間から宙を満たし、二度ともとには戻らない」と若宗匠は言う。そんな豊かな香りに包まれ、無心になる瞬間こそ、もっともせいたくで価値のある時間なのだ。

「香りの楽しみ方は、実に優美なものだ。香木を炷く「香元」、書記係の「執筆」を囲んで座り、順に香りを聞き、その香りを当てるというのが基本で、季節や古典文学に応じた組み合わせがある。お香席では必要最小限の言葉しか発せず、場は静寂と香りに包まれる。当たっても外れても、結果に一喜一憂したりはしない。香道は遊戯性を持ちながらも、そこで楽しむのはあくまで香りとの対話であり、流れる豊かな時間なのである。」

「香りを聞くためには深い精神統一が必要です。集中力を欠いていたり、当てようという邪念があると、私でも外してしまうほどです。忙しい現代を生きる人たちにこそ、ただ無心に香りを楽しむ時間が必要なのではないのでしょうか」

香道を聞く

香道

の世界

主張する
特集
鼻

日本の伝統芸能の一つに、香道がある。上流階級の贅を極めた芸道である香道の精神は、現代の私たちに何を訴えてくるのか。研ぎ澄まされた伝統文化の、雅やかな世界に迫った。



取材にご協力いただいたのは、室町時代から続く「志野流」の次期家元になられる蜂谷宗苾（はちやそうひつ）若宗匠。香道の豊かさを伝えるべく、全国各地で公演や香道の稽古を行っている。家元を継承する家に生まれ、「素晴らしいと本気で言える文化を人に伝えられることは大きな喜び」と語る。

室内の空気を清浄し、においを除去する
～エアクリーナ クオリオンタイプ～

脱臭機能+マイナスイオン発生機能付エアクリーナ BIO・TOWER™クオリオンタイプ

愛煙家でも気になるといわれるのがたばこのにおい。このタバコのおいを除去し、快適な室内環境の実現に寄与しているのが、山武の脱臭機能+マイナスイオン発生機能付エアクリーナのクオリオンタイプです。山武は、シックビル病やタバコ煙に含まれるVOCを分解し、脱臭に優れた効果を発揮するエアクリーナ用ハイブリッドフィルタを開発しました。ハイブリッドフィルタは、触媒の働きによって悪臭を酸化分解するのに加え、フィルタ表面に焼成した特殊吸着剤によって通過する悪臭物質を吸着します。この2つの効果によって業界トップクラス（当社調べ）の脱臭効果を実現しました。人々の安心と快適をサポートする技術は、ますます広がっています。

Product Review

建物管理システム savic-net FX

savic-net™ FXは、新世代のネットワークビルディングオートメーションシステム。IPv6*やLinux*といった最新テクノロジーをプラットフォームとして採用することで、監視端末の操作やシステムの拡張がより容易になり、Webブラウザが搭載されているパソコンを監視端末として使用することも可能。ビル内のさまざまな情報の集約と発信を行い、いつでも・誰でも・どこからでも必要な情報にダイレクトにアクセスできます。

*IPv6: Internet Protocol Version 6
*Linux: Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標あるいは商標です。

株式会社 横浜国際平和会議場



略称社名: パシフィコ横浜 (PACIFICO YOKOHAMA)
U R L: <http://www.pacifico.co.jp/>
所在地: 神奈川県横浜市西区みなとみらい一丁目1番1号
会社設立: 1987年6月3日
施設概要: 国立横浜国際会議場(国立大ホール)、会議センター、ヨコハマ グランド インターコンチネンタル ホテル、展示ホール、アネックスホール
敷地面積: 約100,000㎡
事業内容: 国際・国内会議及び文化・学術等各種催物の企画、誘致及び開催等

株式会社横浜国際平和会議場
事業部 事業課 担当課長 (技術担当)
岸 英徳氏

事業部 事業課 担当課長 (技術担当)
重松 末男氏

事業部 事業課 課長代理 (技術担当)
斎藤 聡氏

JFEアーンプラス株式会社
斎田 和之氏

パシフィコ横浜は、コンベンション都市横浜における中核施設として、人と情報の交流を促進することにより、学術・文化・産業等の発展を通じて、地域の活性化と国際平和に貢献します。

ふさわしい、デリケートな制御を実現する運用を提案。お客さまの期待に応え、見事採用となりました。「空調の自動制御において、山武は日本でナンバーワンの実績を誇っています。中央監視装置の性能や使いやすさをトータルに考慮し、当施設の特異性を考えた結果の選択でした」(重松担当課長)

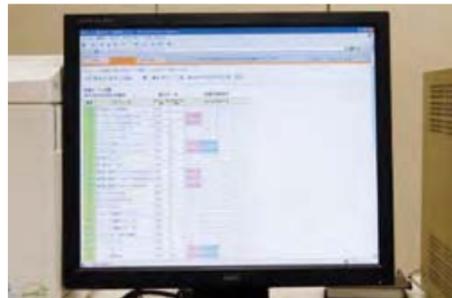
改修工事は、2006年9月から2007年3月末までという短期間で集中工事でした。特に展示ホールでは、催事や準備が進行する中で工事を進めなければなりません。ミスの許されない現場であるため、パシフィコ側と山武とで綿密なスケジュール調整を行うことで、無事竣工となりました。

予約スケジュールとの連動により作業効率を大幅に改善

この改修工事により、中央管理室

の中央監視装置にsavic-net FXを導入。空調、電力、衛生、防災の一括管理はもろろんのこと、これまで監視できていなかった詳細情報の監視が可能になりました。また中央監視室には大型ディスプレイを導入し、多人数でのモニターも可能です。中央監視装置のデータはオフィスのパソコンからも確認することができるよう、きめ細かい運用にも役立っています。

「各リモート端末から中央監視装置



【予約管理システム】空調と照明、両方のタイムスケジュールが施設ごとに一覧となって表示される

に上がってくるデータの速度が速くなりました。監視画面も、過去の画面をベースにアップグレードしたため、大変スムーズにシステム移行できました」(斎田氏)

また、今回の導入のポイントに、中央監視装置とネットワークBAサーバを利用した予約管理システムとの連携があります。パシフィコ横浜の特設施設である展示ホールは24時間稼働し、さまざまな催事と事前準備が仕切りを隔てて同時進行しています。そのため、催事内容とスケジュールに合わせた空調や照明制御が必要となります。これまでは、施設の予約スケジュールを参照しながら空調や照明のスケジュールを手入力しており、変更があればその都度作業が発生し、管理者の手を煩わせていました。

しかしこの度の導入により、予約管理システムに登録された予約データと、中央監視装置の空調・照明設

備の運転・停止プログラムを連動させ、大幅な作業効率の改善を実現しました。

「この仕組みは私が以前から構想を練っていたもので、今回実現できてとてもうれしく思っています。痒かったところにやっと手が届いた感覚ですね」(斎藤課長代理)

設備の運用はまだ始まったばかりですが、みなさんは今後も大きな効果を期待しています。

「中央監視装置が持つたくさんの機能を、これまではほとんど活用できていませんでした。しかし、今回からは山武のご協力のもと、ぜひ存分に使いこなしてみたい。当施設にふさわしい、柔軟で新しい提案に期待しています」(岸担当課長)

個々の施設に合わせたきめ細かい対応を、少ないマンパワーで実現する手助けとなったsavic-net FX。より効果的な運用に向けて、取組みはまだ始まったばかりです。



Vol.1 パシフィコ横浜 世界最大級の複合コンベンションセンターを最新の中央監視装置により一元管理

みなとみらいから世界に向けて情報発信するパシフィコ横浜に、savic-net FXを導入。予約管理システムも新たに導入し、施設の運用管理向上に大きく貢献しています。

無柱の大ホールである展示ホールの天井高は13～19m。フロアはフレキシブルに分割可能で、さまざまな用途に応える

みなとみらい地区開発の先駆け

パシフィコ横浜は、会議と展示スペースに宿泊施設を組み合わせた世界最大級の複合コンベンションセンターです。みなとみらい地区開発の先駆的施設として1991年夏にオープンしました。

パシフィコ横浜のテーマは「波と風と光」。風を受けて進む帆をイメージしたホテル、波をイメージした展示ホールなど、合計5つの施設から構成されています。特に展示ホールは、展示面積20000㎡にもなる無柱の大ホール。パーティションで4つのユニットに区切ることができ、展示会やコンサート、セミナーなど、あらゆる形態のイベントに対応できます。また、会議センターでは、国連防災会議やAIDS会議など、世界から注目を集める会議の数々が開かれてきました。このようにパシフィコ横浜は、オープン以来、国際色豊かな港街・横浜から世界に向けて、数々のコミュニケーションの舞台となっています。

複合施設にふさわしいきめ細かい制御が必要

新しい横浜のシンボルとなったパシフィコ横浜も、竣工後すでに15年が経過し、中央監視装置をはじめとする各設備の劣化に伴うリニューアルが必要となっていました。そこで、

「オフィスビルとは異なり、当施設はそれぞれが独立して機能する複合施設です。イベントによってホールの空調や照明の使い方はさまざま。お客さまの要望やイベント内容に合わせた、きめ細かい制御管理が求められました」(岸担当課長)

設備の更新にあたってはコンペが開催され、山武は大規模複合施設に



【savic-net FX】52型の大型ディスプレイで、savic-net FXの管理画面や監視カメラの映像を確認することができる

「これまででは、ガバナと周辺機器をそれぞれ単体で購入し、自分たちで溶接や配管をしてお客さまの工場で調整器を組み上げていました。それが、あらかじめ組み上がったひとつのユニットとして納品してもらえようになり、信頼度が高まりました。点検やトラブルへの対処も簡単で、メンテナンス性も格段に向上しました。」（長谷川課長）

また中圧ガスメータについては、当時発売されたばかりの山武製CMPを金門製作所の担当者から紹介され、試験的に採用。品質の高さを確認し、本格的な導入に至りました。

「ガスパイプの上流と下流に取り付けた2つのメータを比べても、データの誤差はほとんどありませんでした。これまでのガスメータの常識ではあり得ない高い精度には、とても驚きました。また計測領域も広く、設置も簡単で大変助かっています。」（長谷川課長）

「これまで使用していたルーツメータから、同じ規格でCMPに差し替えることができ、融通が利きます。見た目もスマートなため、工場に納めることができるようになりました。」（竹田主任）

CMPはすでに数工場に納入され、今後の計画にも多数の導入が予定されています。

Vol.2 東海ガス株式会社

地域に密着したガス会社の信頼を支える 高精度な製品群

熱量変更による地域のお客さまへの天然ガス供給をきっかけに、金門製ガスガバナと山武製中圧ガスメータCMPを導入。精度の高い製品群が、安全・安心のガス供給を可能にしています。



東海ガス株式会社

URL: <http://www.tokaigas.co.jp/>
 所在地: 静岡県焼津市塩津74番地の3
 会社設立: 1966年12月
 資本金: 7億5千万円
 事業内容: ガスの供給、ガス機械器具の販売等

東海ガス株式会社
 総務部 次長
鈴木 秀人氏

供給部
 供給管理課長
長谷川 俊昭氏

特需部
 産業エネルギー課長
大窪 真也氏

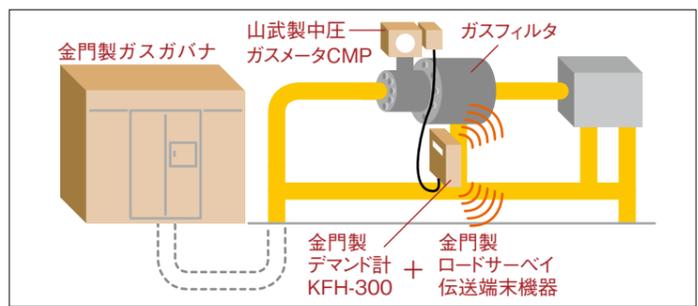
特需部
 産業エネルギー課 主任
竹田 克孝氏

特需部
 産業エネルギー課 主任
鈴木 洋一氏

東海ガスは、「お客様の満足の上に、社員とお客様が感動を共有できるような関係を築きあげる」ことを企業理念とし、お客さまの視点に立って快適で豊かな暮らしをご提供するために、クリーンで安全なエネルギーの安定供給に努めています。

2005年12月より、金門製作所は山武グループの一員となり、山武グループ共通のシンボルマーク「azbil」のもとで協働を行っています。

ガス会社の事業に精通した人材と製品シナジーに期待



金門製ガスガバナで調整されたガスは配管を通り、ガスフィルタを通過して山武製中圧ガスメータCMPへ。ここでの流量データは、金門製ロードサーベ伝送端末機器により、東海ガス社屋内に設置されたデータセンターに転送される

す。2社のシナジーは、東海ガスにとってもさまざまな効果を生んでいます。天然ガスの需要拡大に伴い、急速に成長を遂げた東海ガス。山武グループの総合力が、東海ガスの信頼のブランドを支えています。

「以前からのつきあいも長く、気兼ねなくお話しできる金門製作所の営業担当者を通じて、精密さでは群を抜く山武の製品も導入できるようになりました。修理の対応においても、金門製作所と山武との連携で満足いく対処をしていただいています。」（鈴木主任）

「ガバナから取引メータ、管理メータに至るまで、客先に納品するフルパッケージについて相談することができるようになり、大変助かっています。」（竹田主任）

「ガス事業に精通している金門製作所と、計装に強い山武が組めば、怖いものはないでしょう。地震センサとガバナ遮断の連動など、製品上の連携も予定されているとのこと。今後の斬新な提案に期待しています。」（長谷川課長）

**地域への安定的ガス供給に
なくてはならない存在**

東京と名古屋のちょうど中間に位置し、古くから水産業の街として知られる静岡県焼津市。この街を中心に、藤枝市・大井川町など3市2町にガスの供給を行っているのが、1966年に設立された東海ガス株式会社です。

近年、エネルギー業界では規制緩和により、各種エネルギー間の競争が激しさを増しています。そこで東海ガスでは、原点に立ち返り、各家庭にガスの有用性と安全をアピールするため、2007年の4月から全戸訪問活動を行っています。

「ガスに対するイメージの向上や、ニーズを引き出すきっかけになればと考えています。小回りがきく利点を生かし、一年間で40000戸の戸建て住宅を一戸ずつ訪問する予定です。」（鈴木次長）

さらに東海ガスは、一般家庭だけでなく法人へのガス供給にも力を入れています。この地域は、大井川のきれいな水と平地に恵まれ、食品工場や薬品工場が林立したエリア。CO₂などの温室効果ガス排出削減の一環として2003年から取り組んでいる天然ガスへの熱量変更に伴い、周辺地域の工場をお客さまとし、ガス供給を増やしてきています。

「年間10万m³以上を供給する大口需要家が、2007年5月末現在で31社にまで増えました。販売量も、

**製品の精度が高く
納入先のお客さまからも評判**

工場では、一般家庭よりも圧力の高い中圧のガスを必要とします。中圧のガスを工場の生産ラインに安全に送り届けるためには、信頼性の高い圧力調整器を客先に設置する必要があります。そこで東海ガスが選択したのが、金門製作所のガバナユニットです。



着々と実り始めた
山武と金門製作所の協働シナジー

山武と金門製作所の企業グループ化が発表されたのは、2005年12月。それから1年半が経過し、「azbilの金門」も徐々に、だが確実に市場へと浸透し始めている。

山武も金門製作所も、ともに創業100年を超える歴史ある企業。世紀にわたって築いた技術と信頼を次代に受け継ぐためにも、2社の協働がどのようなシナジーを生むのか、注目されている。

メーカ間のシナジーといえば、製品開発上のシナジーにばかり目が向いてしまいが、山武と金門製作所のシナジーがまず効果を現したのは、営業面での協働だ。

実は2005年の8月、山武静岡営業所の営業担当・杉村は、静岡のあるガス会社に対する提案に頭を悩ませていた。

「地震センサによるガスの安全遮断の提案を考えていました。しかし山武の提案だけでは、センサからの信号発信はできても、ガバナの遮断は連動できません。この提案を本気で実現しようとするならば、ガバナを製造している金門製作所と一緒に提案すべきだろう。自然とそんな結論に至りました」

そして、金門製作所との共同提案に

向けて社内でも動き出した。

一方、金門製作所はあるベアリングメーカにおいて、競合他社に管理用ガスメータのシェアを奪われ苦戦していた。

山武と金門製作所のグループ化が決定したのは、まさにそんな時だった。これを好機と捉えた金門製作所の営業担当・足利はすぐに山武と連携し、ベアリングメーカに山武の中圧ガスメータCMGを提案。一気に形勢逆転し、受注を掴んだ。山武の製品力と金門製作所の営業力というお互いの強みが発揮され、実を結んだ最初の瞬間だ。「金門製作所と付き合うとこんないいことがあるのかと、実感した出来事でしたね」と杉村は語る。

この成功例が推進力となり、静岡の金門製作所は長年にわたって築いた強い顧客基盤があり、ガスや水道の業界でその名を知らない者はいないと

言っている。一方、山武は「計測・計装」事業での制御に強く、ネットワークやエッジリングにわたる高い技術力と応用力は、ガス事業者殿からも評価をいただいている。これまでは競合する面もあった2社が、今は同じグループとしてwin-winの関係を作り上げている。金門製作所の足利はこう言う。「山武

と同じグループになることで他にはない総合力を発揮できるようになり、これまで入り込めなかった領域にも営業できるようになりました。「山武の製品については、金門の足利に聞けばいい」と言われる関係をお客さまと築いていきたいですね」。また、杉村は「山武と金門がシ

ングルウィンドウで製品を提供できることがまだまだ知られていない。お客さまにもっと知っていただくことによつて、お客さまにも喜んでもらえる提案ができると思っています」と語る。

人的シナジー効果は、製品上のシナジーへと波及している。単品提案からシステム提案へ、システム提案からさらなる製品シナジーへ。山武と金門製作所のシナジーは、まだまだ未知なる可能性を秘めている。



杉村 聡

株式会社山武
アドバンスオートメーションカンパニー
静岡事業所
販売1グループ

「これからも、お客さま・金門・山武の“人の喜び”を模索しながら、azbilの山武グループが一体となってお客さまに価値を提供していきます」

足利 清浩

株式会社金門製作所
静岡支店

「山武、金門の壁を越え、山武グループの総合力で躍進します。乞うご期待!!」

天然ものは貴重です
動物性香料の話



アロマセラピーのブームにより、香りを楽しむ文化もずいぶん身近になってきました。香料は天然香料と合成香料に大きく分けられますが、アロマセラピーなどで使われる天然香料の多くは、花や葉、果実などから得られる植物性香料。その数は150種類にもなります。一方、動物の生殖腺分泌物などから抽出する動物性香料は、わずか4種類。どれもそれ自体では強烈なおいを放ち、とてもよい香りとは言えませんが、希釈して香水などに使うと、植物性香料だけでは出せない奥深い香りを演出します。現在ではワシントン条約の規制により合成で作られている動物性香料。どんな動物の、どんな部位から抽出されるのでしょうか……。

ムスク【麝香(じゃこう)】

ジャコウジカのオスの生殖腺を乾燥させたもの。甘く粉っぽい香りを持ち、香水の香りを長く持続させる効果があるため、香水の素材として極めて重要。また、興奮作用や強心作用といった薬理作用を持つとされ、六神丸、奇効丸、救心などにも使用され、漢方薬の原料としても重宝されている。

シベット【靈猫香(れいびょうこう)】

東南アジアと北東アフリカに分布する靈猫(ジャコウネコ)の肛門近くにある分泌腺から出るもの。強い糞様臭を持つが、さらに薄めると心地よい香りとなる。古代においては媚薬として用いられており、クレオパトラが体に塗っていたと伝えられている。

アンバークリス【龍涎香(りゅうぜんこう)】

マッコウクジラの体内にできた結石が体外に排泄されたもの。龍涎香にはマッコウクジラの主な食料である、タコやイカの硬い顎板(「からすとんび」とも呼ばれる鳥のくちばし状の硬組織)が含まれている。神経や心臓に効果のある漢方薬としても使用されていた。

カストリウム【海狸香(かいりこう)】

ビーバーの生殖器にある分泌腺から出る分泌物。この分泌物を乾燥させて、粉末状にして使う。香料としての歴史は他の動物性香料に比べるとずっと新しく、19世紀頃から。レザーノートと呼ばれる皮革のような香りを出すために、香水に主に使用されてきた。

私たちは、
「人を中心としたオートメーション」で、
人々の「安心、快適、達成感」を
実現するとともに、
地球環境に貢献します。

編集後記

日ごろ当たり前のように感じる嗅覚ですが、嗅覚を失うと味覚も感じなくなり、何を食べても美味しいと感じなくなるそうです。人生の半分を食べる楽しみで過ごしている私は、当たり前のように感じていた嗅覚と味覚に感謝するばかりです。そして、最近、アロマセラピーを受けてきました。いい香りと心地よいマッサージの中でうつらうつらと深い知らない間に寝ていました。香りは人を癒すようで「鼻」は脳の入口なのだそうです。自分癒しにすっかりはまっている私です。

(akubi)

山武グループPR誌「azbil」を
ご愛読いただき、ありがとうございます。

- 本誌に関するお問い合わせやご意見、ご希望、ご感想、取り上げてほしいテーマなど、皆さまからのお便りをお待ちしております。お名前、貴社名・部署名、ご住所、電話番号などをご記入の上、下記まで郵送、FAX、電子メールなどでお寄せください。
- ご住所などの変更に関するご連絡は、宛名ラベルに表示されております8桁の登録番号も併せてお知らせください。

■お問い合わせ

〒100-6419 東京都千代田区丸の内2-7-3 東京ビル
株式会社 山武 広報グループ azbil 編集係
TEL: (03) 6810-1006 FAX: (03) 5220-7274
E-mail: azbil-pr@jp.yamatake.com

- 発行日: 2007年8月1日
- 発行: 株式会社 山武 広報グループ
- 発行責任者: 須原 一郎
- 制作: 産業編集センター

この絵は、社団法人発明協会が子どもの自由奔放な発想を広く集めた「第29回未来の科学の夢絵画展」の作品の中から、同協会のご協力を得て掲載し、表紙に特徴的部分を拡大しています。



【ふくらびテレビ】

- 高木 麻衣さん
 - 岐阜県大垣市安井小学校1年
- 未来のテレビは服選びもできます。好きな服を選んだら、後は着替え室で待つだけです。不思議なトンネルから服が飛んできて、アッという間に大変身! です。



azbilの拠点がある街を紹介します。

“ 神戸 ”



開放的でハイセンスな港町

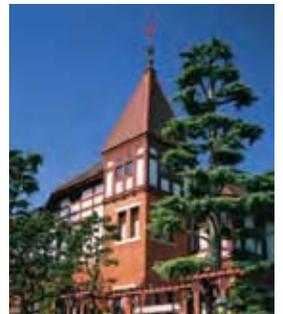
Kobe

横浜と並ぶ国際港湾都市・神戸は、港町らしいさわやかな開放感に満ちている。ベイエリアには博物館やアミューズメント施設があり、ブティックが軒を連ねる。チャイナタウン・南京町で名物の豚まんをほおばり、異国情緒漂う山の手まで上れば、風見鶏の館などの異人館が立ち並び、さらに足を伸ばせば、神戸の奥座敷として親しまれる日本三古湯のひとつ、有馬温泉がある。そして、六甲山から見下ろす100万ドルの夜景。自然の地形と建造物がうまく絡み合った、ドラマチックな町だ。

ところで、「100万ドルの夜景」の「100万ドル」とは、実は電気代のことらしい。そもそも「100万ドルの夜景」とは、1953年に当時の電力会社の副社長が命名したといわれている。六甲山から見る神戸・芦屋・尼崎・大阪の電灯を灯すのに、1カ月で約4億2900万円の電気代がかかり、当時のレートで換算してざっと100万ドル強。ネタを

明かせば、夢のない話である。神戸の歴史は古く、奈良時代からすでに中国をはじめとする諸外国との貿易拠点として栄えた。江戸時代の鎖国政策によって外国貿易は途絶えるも、天下の台所、大阪の発展に伴って次第に活気を取り戻し、昭和に入ってから100万人の人口を有する都市となった。

外国文化の入り口として発展した歴史は、今でも神戸に生きる人々の文化や気質に残っている。流行に敏感でハイセンスな人が多く、「神戸嬢」に代表される華やかで明るいファッションが好き。少し飽きっぽいというのも、港町らしさだろう。来るもの拒まず、去る者追わずといった、港町特有の湿った風がよく似合う。



azbil azbilは山武グループのシンボルマークです

- 山武 山武商会 山武コントロールプロダクト
- 山武エキスパートサービス 山武フレンドリー
- 山武ケアネット 安全センター
- 熊本安全センター セキュリティフライデー
- 原エンジニアリング 金門製作所 太信
- ロイヤルコントロールズ テムテック研究所

販売店